

令和8（2026）年 3月 1日

大会参加チームの皆様

広島県小学生バレーボール連盟
競技委員長 島田 久士
北部地区小学生バレーボール連盟
競技委員長 竹岡 正浩

競 技 上 の 注 意 事 項

3月14日（土）、15日（日）開催の大会で、選手の安全を守り、試合進行をスムーズにするために、以下のことについてよろしくお願いします。

1 試合前

- (1) 試合を担当する審判団が、スコアシート・ラインアップシートを各コートに持って行き、試合の準備をします。この間、競技委員がコートチェック、審判委員がネットチェックを行います。
- (2) 次の試合のチームがコートに入るのは、下記の事項が終了してからです。
 - 前試合の両チームがコートから退出する。
 - 競技委員のコートチェック、審判委員のネットチェック後とします。

2 公式練習

- (1) コートを使用しているチームに優先権があります。片方のチームは、フリーゾーン内のボールが来ない安全な場所で練習ができます。サーブの練習時には、片方のチームは練習を中止してください。ボールが、隣のコートに入らないように注意してください。
- (2) 競技委員がコートの上に立ち、隣のコートにボールが入ってくるのを防止します。

3 試合中

- (1) 飲み物はベンチの後ろかアップゾーンに、ボールかご・救急バッグなどの荷物は、アップゾーンに置いてください。
- (2) 試合開始・終了後ともに選手全員が並びます。試合前にセンターラインまで進み、ネットをはさんで握手を行います。試合終了後の礼の後、センターラインまで進み、互いに握手をします。監督は審判員と握手をします。
- (3) テクニカルタイムアウト
第1・2セットでは、リードしているチームが11点に達したときに、第3セットでは、リードしているチームが8点に達したとき、チェンジコートを行った後に適用します。
また、デュースが続く場合、第1・2セットでは、得点が25対25に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用します。第3セットでは得点が21対21に達したときに適用し、その後は、両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用します。

(4) ワイピング

- ① 公式練習終了後、タイムアウト、セット間のワイピングの指示はしません。
- ② コートが濡れたときには、選手各自のタオルで拭かせてください。
- ③ コートが広く濡れた場合は、各コートにあるモップで拭く指示をすることがあります。※選手のタオルでは間に合わない場合を考えて。
- ④ テクニカルタイムアウト時はワイピングを行わず、健康観察・給水とします。

4 ラインジャッジ・点示のみなさん

(1) 健康管理の一環として、飲み物とタオルを持参してください。

(2) ラインジャッジ・点示へのクレームがあった場合は、すぐに審判員に報告してください。

(3) 試合前は、記録席横で待機してください。ミーティングをします。

(4) ラインジャッジの選手が所定の位置を移動するときには、必ずフラッグを持って移動し、給水したり休憩したりするようにしてください。

5 試合後

速やかにベンチを空けてください。

6 試合間

(1) ネットを使つての練習は禁止します。

(2) 試合間の設定時間は、競技・審判がコートに入ることを許可してから5分とします。

ただし、試合が連続する場合は、10分の試合間をとります。

試合終了後は、そのコートの次の試合に出場するチームのみ、当該コートで練習することができます。

7 エントリー変更

参加申し込みチーム構成員に変更があった場合は、監督会議前に、エントリー変更届を提出してください。

8 第1試合まで

開館・受付	8 : 30	
監督会議	9 : 00～	終了後帯同審判会議を行います
開会式	9 : 30	

9 試合中の応援団のマナー違反について

①フラッシュ撮影や応援方法に問題があった場合、競技委員が応援団に指導し止めます。

②判定に対するクレームや相手チーム及び自チームへの暴言・威嚇等があった場合、競技委員が応援団に指導し止めます。

試合終了後、本部で事実確認の上、対応します。

10 廊下・ロビー等でのアップやボールを使った練習は禁止します。

11 ここに書かれていないことについては、大会本部の指示に従ってください。